

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化・終末期支援のあり方や事業所としての最大の支援方法を踏まえた、指針を検討したい。 ・喀痰やAEDの定期的な研修を行い、医療技術の習得に向ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化・終末期支援について、家族のあり方、医療面での協力体制、事業所としての支援のあり方等を踏まえた指針を検討する ・喀痰研修の参加やAED使用の定期的な研修を行い職員の質の向上を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・重度化・終末期支援に係る、家族・医療機関等との連携や職員の動向についての指針やマニュアルを作成する ・喀痰研修に各棟1人ずつ参加し、医療技術を学ぶ ・AEDの使用について、毎年1回施設内研修を行い、緊急時の対応を把握し、全職員がスムーズに行動できるようにする 	平成28年4月～平成29年3月31日
2	35	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練後、消防署からの助言事項について、一つ一つ検討し、対策を練り入所者様の人命救助に努める。 ・大地震時のとっさにとるべき基本動作などについて、運営推進会議にて意見交換を持ちながら、対策を検討したい 	<ul style="list-style-type: none"> 入居者様の生命を第一に考え、全職員が安全に素早く対応できることを目標とする ・施設内の環境整備…避難口の段差解消 ・地域の消防協力隊の皆様へ、不安なく車椅子操作が出来るよう研修会を企画する ・震災時の対応について、運営推進会議にて意見交換を持ち、検討会を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難口の段差をなくすためのスロープ設置の検討 ・地域の皆様、職員合同の車椅子操作についての研修会実施 ・大地震等、災害時の対応についてマニュアルを作成する。運営推進会議にて提示し意見交換を行う ・大地震想定時の訓練を施行する 	平成28年4月～平成29年3月31日
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。